



平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月25日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5785)8900
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	4,676	44.2	539	9.3	523	5.4	303	3.7
24年6月期第3四半期	3,242	—	493	—	496	—	292	—

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 310百万円(6.2%) 24年6月期第3四半期 292百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	23.36	21.69
24年6月期第3四半期	26.17	23.48

(注) 1. 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。したがって、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該分割調整後の数値を記載しております。

(注) 2. 当社は、第3四半期の業績開示を前連結会計年度から行っているため、平成24年6月期第3四半期の増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	5,140	3,782	73.0
24年6月期	3,389	2,263	65.9

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 3,751百万円 24年6月期 2,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,426	44.2	726	18.2	702	14.8	424	14.5	31.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) - 、除外 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

* 詳細は、添付資料5ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	14,280,200株	24年6月期	12,270,000株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	188,200株	24年6月期	235,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	12,987,145株	24年6月期3Q	11,185,502株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成25年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本書提出日前日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

(株式分割について)

・当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割行われたと仮定し、平成24年6月期第3四半期及び平成25年6月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速による輸出や設備投資の鈍化などを背景に厳しい状況で推移しました。年末には円安や株高が進行し輸出企業を中心に業績の改善が見込まれるとともに、個人消費も回復傾向に向かいましたが、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

そのような状況下で、わが国の日常生活におけるインターネットの影響力は、スマートフォンや多機能端末等の普及が本格化し、より一層強まっております。特に携帯電話でのインターネット利用に関しては、平成25年3月末現在、携帯電話契約数は1億3千6百万件、そのうち高速データ通信が可能な第三世代携帯電話契約数は1億3千1百万件に達し、全端末のうち約96%は高速データ通信が可能な状況となっております（電気通信事業者協会調べ）。

スマートフォンに関しては、平成24年10月～12月における国内出荷台数が883万台（前年同期比29.2%増）となり国内携帯電話出荷台数の77.9%となるなど、順調に拡大しております（IDC Japan株式会社調べ）。

このような環境のもと、当第3四半期連結会計期間末現在、「@cosme」の月間ユニークユーザー(UU)数は約750万UUとなりました。

メディア事業においては、@cosmeスマートフォン版の最適化や、クチコミやランキング絞り込み機能の強化を図りました。EC事業・店舗事業においてはメディア事業との連携の強化を、その他事業においては、営業体制の強化や引き続き「@cosme」等との連携を推し進めて行った結果、販売が順調に推移しました。

以上の結果、当社グループの売上高は4,676,474千円（前年同期比44.2%増）となりました。利益面につきましては、売上原価や販売費及び一般管理費の抑制により収益性の向上に努めて参りました結果、営業利益539,415千円（前年同期比9.3%増）、経常利益523,234千円（前年同期比5.4%）、四半期純利益303,416千円（前年同期比3.7%増）となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① メディア事業

当第3四半期連結累計期間においては、ブランディング型広告サービスが過去最多の掲載件数となり、金額ベースでも過去最高を達成するなど、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,363,082千円（前年同期比28.2%増）、セグメント利益は337,465千円（前年同期比20.4%減）となりました。

② EC事業

当第3四半期連結累計期間においては、第2四半期に引き続き、「@cosme」で展開する「おトクde @cosme」からの誘導といったメディア事業との連携や「cosme.com」独自のポイントキャンペーン等が寄与し、「cosme.com」本店の販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は426,842千円（前年同期比28.3%増）、セグメント利益は34,923千円（前年同期比31.3%増）となりました。

③ 店舗事業

当第3四半期連結累計期間においては、特に平成24年4月にオープンしたルミネ池袋店、9月にリニューアルオープンしたマルイ上野店の販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,389,409千円（前年同期比30.3%増）、セグメント利益は67,277千円（前年同期比173.7%増）となりました。

④ その他事業

当第3四半期連結累計期間においては、特にメディア事業より移管したキャリアサービス等の販売が好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は497,139千円、セグメント利益は68,582千円となりました。

なお、その他事業については、前連結会計年度末より当社の連結対象としており前年同四半期との業績比較が不可能な為、これを行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,751,058千円増加し5,140,756千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ982,393千円増加し3,579,726千円となりました。これは主に、現金及び預金が767,831千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ768,665千円増加し1,561,030千円となりました。これは主に、海外非連結子会社（香港、シンガポール、インドネシア、中国）の設立等による子会社株式の取得、並びに資本提携に伴う投資有価証券の増加があったこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ232,297千円増加し1,358,181千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ29,660千円減少し957,294千円となりました。これは主に、買掛金が93,712千円増加したこと、またポイント引当金が10,527千円増加したものの、未払法人税等が158,450千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ261,958千円増加し400,886千円となりました。これは主に、銀行借入れを行ったため長期借入金が258,376千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,518,760千円増加し3,782,575千円となりました。これは主に、増資の実施等による資本金の増加607,464千円、資本剰余金

の増加598,378千円、及び四半期純利益303,416千円を計上したことにより伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年10月24日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,653,490	2,421,321
受取手形及び売掛金	684,362	891,510
商品	197,812	203,404
その他	71,472	72,877
貸倒引当金	△9,804	△9,388
流動資産合計	2,597,333	3,579,726
固定資産		
有形固定資産	116,131	117,166
無形固定資産		
のれん	77,100	69,753
ソフトウェア	381,088	409,466
その他	14,920	155,111
無形固定資産合計	473,108	634,331
投資その他の資産	203,125	809,532
固定資産合計	792,364	1,561,030
資産合計	3,389,698	5,140,756
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,589	226,301
1年内返済予定の長期借入金	127,060	223,184
未払法人税等	205,884	47,433
賞与引当金	9,649	36,758
ポイント引当金	15,074	25,602
事務所移転費用引当金	—	23,710
その他	496,697	374,304
流動負債合計	986,954	957,294
固定負債		
長期借入金	134,100	392,476
その他	4,828	8,410
固定負債合計	138,928	400,886
負債合計	1,125,883	1,358,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,638	1,531,102
資本剰余金	869,979	1,468,357
利益剰余金	486,485	789,902
自己株式	△47,080	△37,640
株主資本合計	2,233,022	3,751,722
少数株主持分	30,791	30,852
純資産合計	2,263,814	3,782,575
負債純資産合計	3,389,698	5,140,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	3,242,448	4,676,474
売上原価	1,081,217	1,560,914
売上総利益	2,161,230	3,115,560
販売費及び一般管理費	1,667,569	2,576,144
営業利益	493,660	539,415
営業外収益		
受取利息	225	352
受取手数料	1,835	2,274
持分法による投資利益	11,875	—
その他	1,224	2,369
営業外収益合計	15,159	4,995
営業外費用		
支払利息	3,173	4,998
株式交付費	9,182	14,972
その他	51	1,206
営業外費用合計	12,407	21,177
経常利益	496,413	523,234
特別損失		
固定資産除却損	1,094	1,291
店舗閉鎖損失	—	6,107
事務所移転費用引当金繰入額	—	23,710
その他	—	1,104
特別損失合計	1,094	32,212
税金等調整前四半期純利益	495,318	491,021
法人税等合計	202,639	180,115
少数株主損益調整前四半期純利益	292,679	310,906
少数株主利益	—	7,489
四半期純利益	292,679	303,416

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292,679	310,906
四半期包括利益	292,679	310,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,679	303,416
少数株主に係る四半期包括利益	—	7,489

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,843,329	332,691	1,066,427	3,242,448	—	3,242,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	388	3,511	5,796	9,695	△9,695	—
計	1,843,717	336,202	1,072,224	3,252,144	△9,695	3,242,448
セグメント利益	424,190	26,589	24,576	475,357	18,303	493,660

(注) 1. セグメント利益の調整額 18,303千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	2,363,082	426,842	1,389,409	497,139	4,676,474	—	4,676,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,611	11,915	382	18,909	△18,909	—
計	2,363,082	433,454	1,401,325	497,521	4,695,384	△18,909	4,676,474
セグメント利益	337,465	34,923	67,277	68,582	508,248	31,167	539,415

(注) 1. セグメント利益の調整額 31,167千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(報告セグメントの変更)

当社は、前連結会計年度末よりその他事業を営む株式会社アイスポットを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度末より「その他事業」を報告セグメントに追加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第2四半期連結会計期間において公募増資、自己株式の処分等を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が607,464千円、資本剰余金が598,378千円増加、自己株式が9,440千円減少し、当第3四半期連結会計期間末時点で資本金が1,531,102千円、資本剰余金1,468,357千円、自己株式37,640千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。